

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 新型インフルエンザ予防接種費助成経費
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	3	予防医療（感染症対策）の充実
主要な施策	2	予防接種の接種率の向上
事務事業番号	003	事務事業コード 12232003 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	新型インフルエンザ予防接種助成経費
------	------	------------	-------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください） 市民
手段 （事業の内容・活動）	（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください） 国内において新型インフルエンザの感染が拡大し死亡者も出ており、全国的な流行期に入っている状況にあります。 このため、市内における新型インフルエンザワクチン接種に係る接種対象者のうち、低所得者等に係るワクチン接種の実費負担による経済的負担を軽減する。
目指す姿 （成果）	（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください） 市民に対する新型インフルエンザ感染拡大の抑制・防止を図る。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	1,070				
			実績値	601				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 新型インフルエンザワクチン実費負担軽減事業補助金	千円	1,748					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	591					0
合 計				2,339	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	33	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		33	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内における新型インフルエンザの感染拡大を抑制・防止するためにワクチン接種は有益であり、感染症等の防止対策を講じるのは市の役割である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ ワクチン接種経費負担の軽減は、低所得者等の市民に安心感を与えるとともに感染予防のPRとなっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ ワクチン接種経費負担の軽減は、低所得者等の市民に安心感を与えるとともに感染予防の意識が定着。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 普段予想できない突発的な発生による感染症に対する当該事業に関して削減することは困難。

担当グループによる評価

休 止	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	ほぼ終息を迎え、庁内本部会議も休止。第2波、第3波の新型インフルエンザ患者発生時に対応。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

休 止	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）